資料１－１

【　市民用　】

八幡市ごみに関するアンケート調査ご協力のお願い

日ごろより、市政にご理解とご協力いただき、ありがとうございます。

さて、本市では、ごみの減量・資源化や適正なごみ処理を進めるため、平成２９年度に平成３０年度から令和８年度までを計画期間とする「第３次八幡市一般廃棄物処理基本計画」を策定しました。

計画目標年度が令和８年度であることから、これまでのごみ処理に関する評価を行うとともに、今後の施策を検討し、計画を改定する必要があります。

そこで、市民のみなさまを対象とした、ごみの減量・資源化などに対するアンケートを実施し、計画策定の参考とさせていただくことといたしました。

お忙しいところお手数をおかけしますが、アンケートの趣旨にご理解をいただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和８年１月　八幡市長　川田　翔子

○　調査対象

市内在住の１８歳以上を対象として、１，８００人の方を無作為に抽出しました。

○　記入にあたってのお願い

1　アンケートへのご記入は、封筒のあて名のご本人様にお願いしておりますが、質問の内容によっては、ご家族の中で買い物やごみ出しを主に行っている方とご相談していただいても結構です。
2　設問をお読みになり、該当するものを選択してください。
3　設問の中には、回答が一つのもの、複数回答のものがございますので、ご注意ください。
4　「その他」の場合は、お手数ですが、その内容をご記入ください。
5　**このアンケートは、氏名や住所の記入は必要ございませんので、**率直なお考えをお答えください。

○　個人情報の取扱いについて

このアンケートは、回答者の個人情報が特定されることはありません。
また、回答はすべて統計的に処理し、個々の回答が公表されることはありません。

○　所要時間

約10～15分程度となっております。

○　回答方法

次のどちらかの方法で回答してください。

1　インターネットによる回答

インターネットでアンケートの回答ができます。

令和8年1月31日（土）までに、スマートフォンなどで右の二次元コードを読み込むか、パソコンなどで次のアドレスにアクセスしてください。

2　書面による回答

書面による回答を希望される方は、下記担当課（八幡市市民生活部環境業務課）までご連絡いただきましたら、調査票と返信用封筒を送付させていただきます。アンケート用紙に回答をご記入いただき、**令和8年1月31日（土）までに**、返信用封筒に入れて、切手を貼らずに郵便ポストに投函してください。

◎　ご不明点等ございましたら、下記までお問合せください。

【担当窓口】
八幡市　市民生活部　環境業務課
〒614－8501　京都府八幡市八幡園内75
TEL：075－983－5340（直通）
FAX：075－983－1603
Email：gyomu@mb.city.yawata.kyoto.jp

【アンケート設問（例）】

問1.　あなたは、ごみ減量・リサイクルを実践していますか。

1. 日頃から実践している	2. ある程度実践している
3. 必要だとは思うが、あまり実践していない	4. 実践していない
5. わからない	

問2.　市で資源物として回収している品目や回収していない品目について、スーパー等の店頭回収を知っていますか。当てはまるものを1つだけお選びください。

1. 知っている	2. 知らない

Ⅰ．あなた自身のことについてお聞きします。

問1.　あなたの年齢（○は１つ）

1．20歳未満	2．20代	3．30代	4．40代
5．50代	6．60代	7．70歳以上	

※記入日現在の年齢でお答えください。

問2.　あなたの性別（○は１つ）

1．男性	2．女性	3．答えたくない

問3.　あなたを含めた同居家族の人数（○は１つ）

1．1人	2．2人	3．3～5人	4．6人以上

問4.　お住まいの形態について（○は１つ）

1．戸建て住宅（持家）	2．戸建て住宅（賃貸）	3．集合住宅（持家）
4．集合住宅（賃貸）	5．その他（　　）	

問5.　八幡市にお住まいの年数（○は１つ）

1．2年未満	2．2年以上～5年未満	3．5年以上～10年未満
4．10年以上～20年未満	5．20年以上	

問6.　お住まいの地域（○は１つ）

1．八幡地区	2．橋本地区	3．川口地区	4．岩田地区
5．野尻地区	6．上津屋地区	7．上奈良地区	8．下奈良地区
9．内里地区	10．戸津地区	11．美濃山地区	12．男山地区
13．西山地区	14．欽明台地区		

※回答者が特定されることはありません。

Ⅱ．あなたのご家庭での、ごみと資源物の分別・排出状況についてお聞きします。

本市では、ごみと資源物を次のように分類し、市民のみなさまに排出していただいています。

ごみと資源物の分類
燃やすごみ
燃やさないごみ
プラマーク製品
その他ごみ 【小型家電（無料）、大型ごみ（有料）、リサイクル家電（有料）、処理困難物（バッテリー、タイヤ、消火器、ブロック、土、砂）（有料）】
資源物（ごみステーション） 【缶、びん、ペットボトル、紙パック、カセットボンベ、スプレー缶】

その他に、次の方法による回収も行っています。

＜地域の回収【古新聞紙、古雑誌、段ボール、古布類、缶】＞

問1.　上記に示したごみと資源物の分類について、あなたはどの程度理解していますか。当てはまるものを**１つだけ**お選びください。

1. 理解している	2. ある程度理解している
3. あまり理解していない	4. 全く理解していない

問2.　あなたがごみを出す際に、分別や出し方に迷った品目があれば、具体的に教えてください。（**いくつでも可**）　【例：かばん、ふとん、土、スプレー缶など】

※特にない場合は、ご記入は不要です。

問3.　あなたは、ごみや資源物の分別方法や収集日を確認する場合、どのように調べますか。当てはまるものを**すべて**お選びください。

1. 八幡市環境事務所からのお知らせ	2. ごみ分別アプリ
3. ごみ分別辞典「ごみサク」	4. ごみステーション看板
5. 家族・友人・知人に聞く	6. 市役所に聞く
7. 市のウェブサイト	8. LINEによるごみの出し方検索
9. ごみ分別冊子	
10. その他（　　）	

問4.　ごみと資源物の分別や収集方法等について、どのように思っていますか。それぞれの項目について当てはまるものを<u>１つずつ</u>お選びください。

具体的な内容	
分別方法について	1. とても分かりやすい 2. 分かりやすい 3. どちらとも言えない 4. 分かりづらい 5. 全く分からない
分別品目について	1. 増やしてほしい（品目：　　） 2. 現状のままでよい 3. 減らしてほしい（品目：　　）
1回あたりの収集量について（1世帯2袋まで）	1. 増やしてほしい（品目：　　） 2. 現状のままでよい 3. 減らしてほしい（品目：　　）
収集回数について	1. 増やしてほしい（品目：　　） 2. 現状のままでよい 3. 減らしてほしい（品目：　　）
その他、分別方法、分別品目、収集回数、収集量等について、ご意見がありましたら、ご記入ください。	

問5.　ご家庭でのごみ袋の使用枚数やごみの搬出頻度について、種類ごとに、当てはまるものを選択し、数をご記入ください。

種類		1回排出あたりのごみ袋平均使用枚数		排出頻度
		サイズ	1回あたりの平均排出袋数	
【記入例】 燃やすごみ		(1.) 45L以下	1　袋	1. 週2回 (2.) 週1回 3. 月2、3回 4. 月1回以下
		2. 有料袋	袋	
燃やすごみ		1. 45L以下	袋	1. 週2回 2. 週1回 3. 月2、3回 4. 月1回以下
		2. 有料袋	袋	
燃やさないごみ		1. 45L以下	袋	1. 週1回 2. 月2、3回 3. 月1回以下
		2. 有料袋	袋	
プラマーク製品		1. 45L以下	袋	1. 週1回 2. 月2、3回 3. 月1回以下
		2. 有料袋	袋	
大型ごみ	（収集）			1. 月1回以上 2. 2、3ヵ月に1回 3. 半年に1回 4. 年1回以下 5. 利用したことがない
	（持込）			1. 月1回以上 2. 2、3ヵ月に1回 3. 半年に1回 4. 年1回以下 5. 利用したことがない

問6.　本市では、小型家電リサイクル及び食用廃油を無料で拠点回収を行っていることをご存知ですか。当てはまるものを<u>１つだけ</u>お選びください。

1. 知っていて利用したことがある	2. 知っているが利用したことはない
3. 知らない・利用したこともない	

Ⅲ．ごみの減量への取り組みについてお聞きします。

本市では、「三者協働により持続可能な社会の実現をめざす　廃棄物の減量と資源の循環」を基本理念とし、市民・事業者・市が環境にやさしい生活や事業活動を自ら実践していくとともに、三者が協働して発生抑制を優先した取組を推進しています。

ごみを減らし、資源を循環させることで、資源の枯渇や環境破壊を食い止め、限りある資源を未来へ残していきます。

問1.　あなたは、ごみ減量・リサイクルを実践していますか。

1. 日頃から実践している	2. ある程度実践している
3. 必要だとは思うが、あまり実践していない	4. 実践していない
5. わからない	

問2.　問1で「1. 日頃から実践している」又は「2. ある程度実践している」とお答えの方にお聞きします。あなたがごみの減量やリユース、リサイクルのため、具体的に取り組んでいることは何ですか。当てはまるものを<u>すべて</u>お選びください。

具体的な取り組み	
排出抑制	
1	使い捨て製品を買わない
2	ダイレクトメールは断るようにしている
3	過剰包装は断るようにしている
4	買い物にはエコバックを持参し、レジ袋はもらわない
5	買い物の際は、量り売りやばら売りを利用している
6	無駄な製品をできるだけ買わないよう、レンタル・リースの製品を使う
7	外出する時は、マイボトルやマイ箸を持参する
8	ラップを使わず、ふた付き容器を使用している
9	チラシなどの裏紙をメモ用紙などに使用している
10	洗剤やシャンプーなどは、詰め替え製品を買うようにしている
11	フードバンクやフードドライブを活用している
12	生ごみを排出する際に、水切りを行っている
環境物品等の使用促進、使い捨て品の使用抑制	
13	再生紙を使用した製品を購入している
14	リユースびん等のリユース容器を選択し返却している
15	壊れたものは修理して長く使う
資源物の分別促進	
16	牛乳パックや食品トレー等の資源物は、販売店等の店頭回収に持っていき、引き取ってもらう
17	不要になったものは、リサイクルショップやインターネット等で売る・譲る
18	テレビや洗濯機を買い替えた時は、お店に引き取ってもらう
19	買い物の際は、リサイクル製品（エコマークのついている製品等）を積極的に選ぶ
20	生ごみのたい肥化を行っている
21	古紙や布類などは、地域の回収に出している

その他に取り組んでいること	
22	その他取り組んでいることがあれば、具体的な取り組みをご記入ください。 （　　）

問3.　問1で「1. 日頃から実践している」又は「2. ある程度実践している」とお答えの方にお聞きします。あなたがごみの減量・リサイクルに取り組む理由は何ですか。最も当てはまるものを<u>1つだけ</u>お選びください。

1. ごみ袋の使用枚数が減るから	2. 環境によいことだから
3. 市の財政負担の軽減につながるから	4. 経済的だから
5. 習慣になっているから	6. その他（　　）

問4.　問1で「3. 必要だとは思うが、あまり実践していない」又は「4. 実践していない」とお答えの方にお聞きします。あなたがごみの減量・リサイクルに消極的な理由は何ですか。当てはまるものを<u>1つだけ</u>お選びください。

1. 面倒だから	2. 方法が分からないから	3. 時間がないから
4. あまり意味がないから	5. 自分にメリットがないから	
6. 必要性を感じないから	7. 特に理由はない	
8. その他（　　）		

問5.　この1年間で、あなたのご家庭から出たごみの量は減りましたか。当てはまるものを<u>1つだけ</u>お選びください。

1. 1年前より増えた	2. あまり変わらない	3. 1年前より減った
4. わからない		

問6.　問5で「1. 1年前より増えた」と答えた方にお聞きします。その理由を<u>すべて</u>お選びください。

1. ごみの減量化や資源化に取り組んでいないから
2. 家族が増えたから
3. その他（　　）

問7.　問5で「3. 1年前より減った」と答えた方にお聞きします。その理由を<u>すべて</u>お選びください。

1. ごみの減量化や資源化に取り組んだから
2. 家族が減ったから
3. その他（　　）

問8.　ごみの減量への取り組みに関して、市や事業者へのご意見等がありましたらご記入ください。

Ⅳ．資源物の排出についてお聞きします。

問1.　資源物の排出方法について、最も多く行っている方法を<u>１つだけ</u>お選びください。また、排出頻度をお選びください。

種類	排出方法	排出頻度
雑誌	1. 地域の回収に排出 2. スーパー等の店頭回収に排出 3. 燃やすごみとして排出　4. 燃やさないごみとして排出 5. 購読しない　6. その他（　　）	1. 週1回以上 2. 月2、3回 3. 月1回以下
段ボール	1. 地域の回収に排出 2. スーパー等の店頭回収に排出 3. 燃やすごみとして排出　4. 燃やさないごみとして排出 5. 排出しない　6. その他（　　）	1. 週1回以上 2. 月2、3回 3. 月1回以下
紙パック	1. 資源物として市の回収に排出　2. 地域の回収に排出 3. スーパー等の店頭回収に排出 4. 燃やすごみとして排出　5. 燃やさないごみとして排出 6. 排出しない　7. その他（　　）	1. 週1回以上 2. 月2、3回 3. 月1回以下
新聞紙	1. 地域の回収に排出 2. スーパー等の店頭回収に排出 3. 販売店による回収　4. 燃やすごみとして排出 5. 燃やさないごみとして排出　6. 購読しない 7. その他（　　）	1. 週1回以上 2. 月2、3回 3. 月1回以下
雑がみ（紙箱・封筒・チラシ・紙袋・包装紙・メモ用紙等）	1. 地域の回収に排出 2. スーパー等の店頭回収に排出 3. 燃やすごみとして排出　4. 燃やさないごみとして排出 5. 排出しない　6. その他（　　）	1. 週1回以上 2. 月2、3回 3. 月1回以下
缶	1. 資源物として市の回収に排出　2. 地域の回収に排出 3. スーパー等の店頭回収に排出 4. 燃やさないごみとして排出　5. 排出しない 6. その他（　　）	1. 週1回以上 2. 月2、3回 3. 月1回以下
びん	1. 資源物として市の回収に排出 2. 地域の回収に排出 3. スーパー等の店頭回収に排出 4. 燃やさないごみとして排出　5. 排出しない 6. その他（　　）	1. 週1回以上 2. 月2、3回 3. 月1回以下
布類	1. 地域の回収に排出 2. スーパー等の店頭回収に排出 3. リサイクルショップやインターネット等で売却 4. 燃やすごみとして排出　5. 燃やさないごみとして排出 6. 排出しない　7. その他（　　）	1. 週1回以上 2. 月2、3回 3. 月1回以下
ペットボトル	1. 資源物として市の回収に排出 2. 地域の回収に排出 3. スーパー等の店頭回収に排出 4. 燃やすごみとして排出　5. 燃やさないごみとして排出 6. 排出しない　7. その他（　　）	1. 週1回以上 2. 月2、3回 3. 月1回以下

問2.　市で資源物として回収している品目や回収していない品目について、スーパー等の店頭回収を知っていますか。当てはまるものを**1つだけ**お選びください。

1. 知っている	2. 知らない

問3.　スーパー等の店頭回収を活用していますか。当てはまるものを**1つだけ**お選びください。

1. 活用している	2. 活用していない

問4.　問3で「1. 活用している」とお答えの方にお聞きします。スーパー等の店頭回収に持ち込む資源物は何ですか。当てはまるもの**すべて**をお選びください。

1. 雑誌	2. 段ボール	3. 紙パック
4. 新聞紙	5. 雑がみ	6. 缶
7. びん	8. 布類	9. ペットボトル

10. その他市で回収していない品目で持ち込んでいるものをご記入ください。
（　　）

問5.　問3で「2. 活用していない」とお答えの方にお聞きします。その理由は何ですか。当てはまるものを**すべて**お選びください。

1. 面倒だから
2. 店頭回収を実施しているスーパー等がわからないから
3. 近くのスーパー等で店頭回収を実施していないから
4. スーパー等まで資源物を持ち込むことが困難だから
5. その他（　　）

問6.　町内会、自治会やPTAなどにおける、地域の回収を知っていますか。当てはまるものを**1つだけ**お選びください。

1. 知っている	2. 知らない

問7.　地域の回収を活用していますか。当てはまるものを**1つだけ**お選びください。

1. 活用している	2. 活用していない

問8.　問7で「2. 活用していない」とお答えの方にお聞きします。その理由は何ですか。当てはまるものを**すべて**お選びください。

1. 面倒だから	2. 活用（参加）方法がわからないから
3. 忙しいから	4. 高齢化により、活動が困難だから
5. なんとなく	6. 地域で集団回収を実施していないから

7. 自治会、町内会、PTAなどに入っていないから
8. その他（　　）

問9.　資源物の搬出に関して、市や事業者へのご意見等がありましたらご記入ください。

V. 食品ロスの削減についてお聞きします。

「食品ロス」とは本来食べられたはずなのに廃棄されてしまった食品のことを指します。食品ロスの主な原因は、手つかずの食品や食べ残し、過剰除去（例えば大根の皮をむくとき、必要以上に厚くむくこと等）です。

問1.　食品ロスは、日本国内で年間472万トン以上発生しており、国民1人1日あたりに換算すると約103g（おにぎり１個分）の食べ物が食品ロスとして捨てられていることをご存知ですか。当てはまるものを<u>1つだけ</u>お選びください。

1. 「食品ロス」が多量に発生していることを知っている
2. 「食品ロス」という言葉は知っている
3. 知らなかった

問2.　あなたのご家庭で発生する食品ロスは、主にどのようなものが多いですか。最も多いと思われるものを<u>1つだけ</u>お選びください。

1. 食べ残し	2. 未使用・手つかずの食品
3. 過剰除去（野菜の皮のむき過ぎなど）	4. その他（　　）
5. 食品ロスは発生しない	

問3.　あなたのご家庭で食品ロスが発生するのは、どのようなことが原因ですか。最も当てはまるものを<u>3つまで</u>お選びください。

食べ残し	1	料理を作りすぎたため
	2	料理があまりおいしくできなかったため
	3	味付けが好みでなかったため
	4	子どもの食事にむらがあるため
	5	家族の好き嫌いが多いため
未使用・手つかずの食品	6	賞味期限が切れてしまい食べなかったため
	7	消費期限が切れてしまい食べなかったため
	8	食品がいたんでしまったため
	9	食材を買い過ぎたため
	10	食材を購入したことを忘れたため
	11	料理をする機会が少なくなったため
	12	あまり好きでないものをもらってしまったため
	13	急な外食があったため又は家族の予定がかわったため
過剰除去	14	調理技術が不足しているため
	15	健康志向のため
	16	食べられる部分と食べられない部分の判別がつかないため

	17	その他（　　）
	18	食品ロスは発生しない

問4.　あなたのご家庭では食品ロスの削減に取り組んでいますか。当てはまるものを1つだけお選びください。

1	取り組んでいる
2	どちらかと言えば取り組んでいる
3	どちらかと言えば取り組んでいない
4	取り組んでいない

問5.　問4で「1. 取り組んでいる」「2. どちらかと言えば取り組んでいる」とお答えの方にお聞きします。あなたが食品ロスの削減のため、具体的に取り組んでいることは何ですか。当てはまるものをすべてお選びください。

1	必要なものだけを買っている
2	冷蔵庫の残り物は定期的に点検している
3	あまった食材を保存するように心がけている
4	食べ残しをしないようにしている
5	食品ロス削減に関するアプリを利用している
6	フードドライブ・フードバンクを活用している
7	てまえどりを実践している
8	特に何もしていない
9	その他（　　）

問6.　食品ロスの削減に関して、市や事業者へのご意見等がありましたらご記入ください。

Ⅵ. 生ごみの減量についてお聞きします。

問1.　あなたはご家庭で、生ごみを減らすために行っていることはありますか。当てはまるものをすべてお選びください。

1	水切りをしている
2	必要なものだけを買っている
3	冷蔵庫の残り物は定期的に点検している
4	あまった食材は保存するように心がけている
5	調理くずが出ない料理に工夫をしている
6	あまった料理をアレンジするようにしている
7	食べ残しをしないようにしている
8	生ごみ処理機（乾燥又は微生物で分解する装置）で減量化している
9	コンポスト（生ごみを微生物で分解したい肥化する容器）を利用している
10	段ボール箱を利用したコンポストでたい肥化している
11	生ごみは庭にうめている
12	ディスポーザー（台所のシンク下に設置される生ごみを処理する装置）を利用している
13	特に何もしていない
14	その他（　　）

問2.　生ごみの減量に関して、市や事業者へのご意見等がありましたらご記入ください。

Ⅶ. その他についてお聞きします。

問1. ごみに限らず、市からのお知らせは主にどのような媒体で確認しますか。当てはまるものをすべてお選びください。

1. ウェブサイト	2. 広報やわた	3. メール
4. 文書（チラシ）	5. facebook	6. X（旧Twitter）
7. LINE	8. Instagram	
9. その他（　　）		

問2. ごみの減量・資源化等に関するアイデア、ご意見等ありましたら自由にご記入ください。

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。
１月３１日（土）までにご回答ください。